

下関市入札監視委員会（第7回）審議概要

開催日時	平成18年8月23日 13:30		
場所	下関市勤労福祉会館 第4会議室		
委員	太田周二郎（大学教授） 岡孝（高等学校教諭） 中谷正行（弁護士） 山元太志（公認会計士）		
審議対象期間	平成18年4月1日 ~ 平成18年6月30日		
審議対象総件数	109件	（抽出工事名称）	
抽出案件	条件付一般競争入札	78件	平成18年度棕野・伊倉線道路改良工事（第1工区）
	指名競争入札	24件	平成18年度市道交通安全施設整備工事（その1）
	随意契約	7件	平成18年度奥山工場 180t 炉定期整備工事
指名停止等の運用状況	2件22社		
低入札価格調査制度対象工事の発生状況	5件		
議事概要及び委員からの意見・質問、それに対する回答等	議事項目、意見等	別紙のとおり	
	議事結果、回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし		

別紙

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
「入札方式別発注工事総括表及び一覧表（報告）」	
<ul style="list-style-type: none"> 指名競争入札はなくなる方向か。 	<ul style="list-style-type: none"> 条件付一般競争入札を拡大していく。
「平成18年度椋野・伊倉線道路改良工事（第1工区）」	
<ul style="list-style-type: none"> 低入札価格調査基準はどう算出するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 入札金額の低い方から5社の平均に0.85をかけて算出する。
<ul style="list-style-type: none"> 同基準は開札してみないと分からないということか。また0.85の根拠は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> そのとおり。根拠については特にない。横須賀市では下位10社の平均かける0.9にしている。
<ul style="list-style-type: none"> 検査体制はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当者が要所要所を逐次チェックしている。完成後は検査監による検査を受ける仕組みになっている。
<ul style="list-style-type: none"> 入札条件で、旧市内に本店がある業者は総合評点、旧町内に本店がある業者は総合評定値で条件設定されているが、いずれは統一するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度からは統一する予定である。
「平成18年度市道交通安全施設整備工事（その1）」	

<ul style="list-style-type: none"> 指名対象となる業者は何社くらいあったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施行可能な業者は8、9社で、年間数件ある工事なので指名回数を考慮して均等になるように指名している。
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設をどこに何を設置するかはどこで決めるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会からの要望を受け実情を確認したうえで判断している。
<p>「平成18年度奥山工場 180t 炉定期整備工事」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 随意契約で契約しなければならない内容の工事だったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> プラント設備の整備は精通した業者でないと非常に困難である。内容について分割できるものは分割して別途発注している。